

報告書

○ 学会発表

➤ テーマ

「ADEOS-II/GLIモザイクデータを用いたアメリカ・ヨーロッパにおける農地に関する土地被覆分類の研究」という題目で、アメリカ・ヨーロッパにおける小麦畑の土地被覆分類について発表を行った。

➤ 学会を終えて

学会では、様々な意見を頂いた。例えば、土地被覆分類図を作成した後、検証する際に中国では同じ畑でも年によって作物が異なることがよくあるので気をつけた方がいいとアドバイスを頂いた。また、ヨーロッパの検証の際に参考になる機関を紹介して頂いた。これらは、研究を進め修士論文を仕上げる上で非常に有効な情報である。学会で色々な研究者の方々とお話し、議論したことで、自身の研究について様々な方向から見る事ができ、今後の方針をまとめる上で参考になった。

○ 西表島マングローブ林観測

➤ 観測内容

東海大学のマングローブ林サイトにおいて、樹高などの測定をした。今回、残念ながら輸送中の測器の不備により反射率は測定できなかったが、東海大学の方々の測定方法を目の前で見学できたことは今後、樹木などの観測を行う上で参考になった。



西表島

➤ GLI センサでみた反射率

右図は、2003年8月29日のGLIモザイクデータによる反射率である。今回、観測を行った西表島浦内川下流の3画素を選んだ。縦軸は分光反射率を1000倍した値、横軸は波長(nm)である。点線のグラフは代表的な植生の反射率である。参考のため載せた。

Urauti_1~Urauti_3をみると植生の反射率と特徴が似ていることが分かる。

今回用いたGLIデータは1km分解能なので、正確なマングローブの反射率を抽出するのは困難だが、今後250m分解能のデータでも反射率を調べてみたい。

